

委員紹介



平成 27 年度 西区男女共同参画をすすめる会委員名簿

校区	役職	実行委員会	氏名	校区	役職	実行委員会	氏名	校区	役職	実行委員会	氏名
愛宕校区	委員	なぎさ9月	深山 由美子	西陵校区	副会長	意見交換会1月	井 規子	今宿校区	委員	意見交換会1月	松本 真理子
	委員	なぎさ9月	角 敏秀		委員	意見交換会1月	市川 フキ子		委員	意見交換会1月	荒川 照子
愛宕浜校区	委員	意見交換会3月	原賀 恵美子	能古校区	委員	なぎさ3月	丸尾 ひろみ	今津校区	委員	意見交換会9月	石田 久紀子
	委員	意見交換会9月	稲石 貴代子		委員	なぎさ3月	安心院真由美		委員	意見交換会9月	藤嶋 順子
内浜校区	書記	意見交換会9月	萩原 香代子	吉岐校区	委員	なぎさ3月	古野 隆志	北崎校区	委員	意見交換会9月	岩坂 政勝
	委員	意見交換会9月	柴戸 秀子		委員	意見交換会1月	栄 カヨ子		委員	なぎさ9月	岩城 眞奈美
姪浜校区	委員	意見交換会1月	藤田 佳世子	吉岐東校区	委員	なぎさ9月	梶原 眞知子	玄洋校区	委員	意見交換会9月	谷口 信子
	委員	なぎさ3月	新納 ふみ子		幹事	意見交換会9月	水崎 美鈴		委員	意見交換会9月	前田 英美
玄界校区	委員	意見交換会3月	宮川 みよか	石丸校区	委員	なぎさ9月	岩崎 直都美	周船寺校区	委員	意見交換会3月	中嶋 康子
	委員	意見交換会3月	梅田 穂積		委員	意見交換会1月	吉野 澄子		会長	意見交換会3月	山岡 三重子
下山門校区	委員	意見交換会3月	小島 三奈	福重校区	委員	意見交換会3月	斎藤 信郎	元岡校区	幹事	なぎさ9月・3月	仲原 真由美
	委員	意見交換会3月	立道 京子		委員	意見交換会1月	松尾 裕美		委員	なぎさ3月	土生 洋子

編集後記



近年は、お盆前から、来年度新一年生になる児童のためのランドセル販売のCMやちらしを目にする。そのランドセルと言ったら、基本的な形は変わらないものの、色と装飾のバリエーションの多さには驚かされる。ふと、自分だったら何色を選んだら？ひとつだけを選び出せるかな？と考えてしまう。女の子は赤、男の子は黒と決められていた時代を過ごしてきた者にとっては、実に羨ましい限りだ!!

なぎさ

第49号

2015:9



あなたと輪を広げたい

一人ひとりが“いきいき”と輝くために

福岡市男女共同参画基本計画(第2次)

編集 西区男女共同参画をすすめる会 (〒819-8501 福岡市西区内浜1丁目4-1)
発行 西区地域活動推進会

「男女共同参画社会」にむけて



会長 山岡 三重子

“男女共同参画社会”とは

一人ひとりが個人として尊重され、女性にとっても男性にとっても、今よりもっと可能性が広がり暮らしやすい社会です。家庭・職場・地域・政治など、あらゆる分野に女性も男性も主体的に平等に参画することです。「参画」ということばには、参加するだけでなく、物事の計画や方針決定段階から関わっていくという、一歩進んだ意味が込められています。(男女共同参画地域活動ハンドブックより)

地域づくりのために私たちは“何をどう?”して行けば良いのでしょうか

人が人を

広がる人間関係により
人の輪が生まれます。

役が役を

前向きに、私で良ければと受けましょう。

行政と 住民の関係

協働・主体者意識を持ちましょう。

～ 地域の中での自分育て・役育て ～

まちづくりに 大切なこと

共同参画・リーダー育成
に心がけましょう。

組織と活動 のあり方

楽しく、出来る人が出来る
事をすすんでやる

各団体との 連携を密に

情報交換・ネットワーク
づくりを心がけま
しょう。

女性に対する正当な評価と意思決定過程への男女共同参画を押し進めて行くことで、「学習⇒情報・知識⇒意見⇒発言・提言⇒課題実現」へと活力ある地域社会の実現を目指して、私たちは学んで行かなければならないのです。

人として男だから・女だからではなく、共に集い、共に学び、共に手を取りあってこのまちに住んで良かった!と言えるまちづくりを目指しましょう。

お知らせ

西区男女共同参画 フェスティバル2015

場所 さいとぴあ 日時 11月28日(土) 13:30~15:30

講演会 全国亭主関白協会会長 天野周一さん

ご家族、ご友人とお誘いあわせのうえ、ご来場ください。

6月委員交流・意見交換会

西区男女共同参画をすすめる会では、6月11日(木)西区役所会議室において、委員交流・意見交換会を開催いたしました。

今回は委員交代もあり、山岡会長より「男女共同参画とは」という基本のお話がありました。その後「各校区における課題・問題点等」のテーマで、グループディスカッションを行い、発表、総括へと展開していく2部構成で行われました。



グループディスカッション

テーマ「各校区における課題・問題点等」

課題① 校区男女共同参画推進団体の組織(委員)について

- ・高齢化が進み、委員の確保が困難。
- ・逆に若い世代においては、子育て中、仕事との両立等で委員就任が難しい状況にある。
- ・委員の任期が1～2年と短く、男女共同参画を理解できないまま交代となり、委員の育成やスキルアップができていない。

課題② 校区における男女共同参画の進め方について

- ・校区や自治会に男女共同参画が理解されていない。
- ・校区全体に以前の女性の会(婦人会)との思い込みが根強くある。
- ・男性だけでなく、女性の意識も変わっていない。

改善策

- ・男性委員を増やすしくみを設ける。
- ・自治会の方々にもっと理解してもらうために、定例会の前に企画を持ってくる。
- ・より多くの人に男女共同参画を周知するため、公民館事業や人尊協の事業と合同で実施する。

北崎校区 岩城 真奈美

校区の取り組み紹介

愛宕校区

愛宕校区の男女共同参画活動は数年のブランクがあり、昨年会長と副会長を決め、活動を再開しました。そのため校区では「男女共同参画」と言っても「それ何?」と答える方が多く、まずは「男女共同参画」を多くの人に知ってもらうため、3月9日に福岡県男女共同参画センター「あすばる」元館長中島玲子さんを講師に公民館で講演会を行いました。ところが、準備段階で校区のみなさんの反応がよくないのがわかり、急ぎよ、西区男女共同参画をすすめる会の委員にも呼びかけ、またPTAにも学校を通してチラシを配布しました。もちろん地域のみなさんへも回覧板でお知らせしました。結果50名の参加があり、女性29名(58.0%)男性21名(42.0%)でひとまず成功と言えると思います。その後6月に正式な会員・準会員を募集しました。7月5日には総会を開催し、会則・役員を決め、本格的に活動体として動き始めています。

ともかく、みんなで決め、みんなで活動を原則として、楽しく活動していきます。

愛宕校区 角 敏秀



石丸校区

6月21日に「クラフトバッグ作り」を校区住民対象に20人限定で行いました。全員が同じ材料を使って制作したのですが、個性が出るのか同じ物がないのが不思議です。また、途中で投げ出す人もなく、最後までワイワイと楽しく編んでゆくことができ、「また、やってみたいな…」との声を聞くことができました。これからも私たちの活動を通して、



男女共同参画を地域のみなさんに知らせていけたらいいなと思います。

石丸校区では、まだ福岡市男女共同参画推進センター・アミカスからの派遣を依頼したことがないので、今年こそは依頼してみようかと委員会で話し合っています。「かたり合い、笑顔でつなぐ地域の輪」を実践していきます。

石丸校区 岩崎 直都美

